荒川区立南千住第二幼稚園

6月 園だより

令和７年５月３０日

荒川区立南千住第二幼稚園

園長　　立石　晃子

ホームページ　https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html

安心と挑戦の循環

園 長　立 石 晃 子

梅雨の走りか、じめじめとした湿度の高い日が続いています。今年の夏も全国的に気温が高いと予想されているそうで、園においても熱中症事故防止のための対策・指導が求められています。気温の高くない時期からの適切な措置、暑さ指数による活動実施の判断、活動の場所・種類の精選、帽子の着用や通気性・透湿性のよい服装の声掛け、水分補給の声掛けをこまめに行ってまいります。

５月１７日（土）は土曜参観へのご参加ありがとうございました。年中・年長組では親子での運動遊びやゲームを行っていただいたり、年少組では幼児の好きな遊びを一緒に楽しんでいただいたりしました。「ままごとが好きでいつもお弁当箱にごちそうをつめていますよね」「電車が好きですよね」などと保護者の方とお話をさせていただきましたが、幼稚園に通い始めて２か月の年少組の子供たちが園で好きな遊びを見つけて楽しんでいる姿をご覧いただきました。

さて、「遊んでばかりでよいのか心配になる」という声も聞かれます。数を数え計算したり文字を覚えて書いたり、ワークブックに取り組んだりしなくてよいのか、小学校に行って教科の学習についていけなくなってしまうのでは、と不安になられているかもしれません。

本園では、直接体験を通してしっかり遊ぶことに取り組んでいます。その理由の一つに、遊びと体験が生きていく基盤となる、という考えです。閣議決定された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの１００カ月の育ちビジョン）」（令和５年１２月　こども家庭庁）では、母親が妊娠してから小学１年生までのおおよそ１００カ月は、生涯にわたるウェルビーイング、身体・心・社会、つまりバイオサイコソーシャルすべての面での幸せの向上にとって、特に大切な時期としています。子供が不安なときなどに、保護者や保育者などの身近な大人に寄り添ってもらう経験を繰り返す中で、「アタッチメント（愛着）」＜安心＞を土台に、様々な人や環境と関わる中で、子供は豊かな「遊びと体験」＜挑戦＞を通して、自分の世界を広げていく、この「安心と挑戦の循環」が乳幼児期の成長においてとても大切である、としています。幼児の生涯の幸せを育てるために、教師と保護者が共に幼児との間に築き上げる安心感のもと、しっかり遊ぶ場をつくり、幼児教育を行っていきます。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

＜3 歳もも組＞

砂もお水も気持ちいい！歌ったり、踊ったり、なんか楽しいことがいっぱい！

短い春から一気に夏になったような日が多かった５月。もも組の子供たちは、盛んな砂場遊びに水を取り入れ、砂の感触、水の感触、混ざった面白い感触など、様々な感触を味わいながら、裸足になったりびしょ濡れになったりしながら楽しんでいました。「なんかここ冷たい」と、日向と日陰の砂の温度の違いに気が付いたり、砂で型どったドーナツやケーキが水で溶けていくことを楽しんだりと、それぞれの楽しみ方を見つけて笑顔がいっぱいの毎日です。園の生活にもすっかり慣れ、自分から進んで支度をしたり、みんなで絵本を見たり踊ったりすることも楽しみとなり、「あれ？今日、シュワシュワ踊ってないね」などと、みんなで過ごすもも組を楽しんでいます。

６ 月は、雨も多くなってくるので、室内の遊びをさらに充実させたり、遊戯室でみんなで体を動かしたりと、今までよりもパワーアップした園生活を展開していきます。

＜4 歳たんぽぽ組＞

なりきって遊ぶのって楽しいね。先生や友達と一緒だともっと面白い！

自分のしたい遊びを繰り返し楽しむ中で、友達と誘い合い、遊び場を共有したり遊びに必要なものを身に付けたりしている子供たち。室内遊びでは、電車の運転士やプリンセス、忍者などになりきって遊ぶ姿が見られています。遊びを進める中で「それいいね！」と友達の作った物や動きを真似して遊ぶ様子が見られる一方、思いがすれ違い、戸惑うことも出てきました。それぞれが自分のイメージや思いを十分に出しながら遊ぶことができるよう、教師が一緒になって遊ぶ中で、遊びの楽しさに共感し、一人ひとりの思いを受け止め、認めていきます。

６月はプール遊びが始まります。また、雨により室内で過ごすことも多くなってくることでしょう。水に触れて遊ぶ気持ち良さや開放感を味わったり、遊戯室でみんなで一緒に体を動かしたりし、思いきり体を動かして遊ぶ心地よさを繰り返し経験できるように援助していきます。

＜5 歳ばら組＞

自然物を使った遊びに興味津々！！「すごい」「どうなるの？」発見がいっぱい

だんだんと季節も移行してきて水を使った遊びに夢中のばら組です。大好きな泥水遊びも遊び方が変わり、ダイナミックに泥の感触を味わったり冷たさを喜んだりする姿からお団子を作ったりハンバーグを作ったりする姿も見られるようになってきました。草花を使って色水遊びも展開され、すりこ木でビオラをすり潰し色を作り、そこからジュース屋さんも開店しています。始めは自分たちでお客さんを呼ぶことが恥ずかしい気持ちも見られていましたが、お客さんが来て関わりをもつのがとても楽しい経験をしてから「ジュース屋さんです。来てください」と自分たちで呼び込みもできるようになりました。時々お客さんへの対応が難しく感じることもありますが、教師と一緒に言葉の掛け方や、行動の仕方などを学んでいるところです。

これから梅雨の時期になります。室内で安全な過ごし方を自分たちで考えながら過ごしていけるようにし、自分なりの目当てをもって楽しめるように援助していきます。